

第36回

日本緑内障学会 ランチョンセミナー10

緑内障患者の 未来を拓く

血流と生活習慣の視点から考える

座長 檜森 紀子先生 東北大学



緑内障は、眼圧だけでなく、血流や生活習慣など、多様な因子が複雑に関与する多因子疾患です。本ランチョンセミナーでは、『血流』と『生活習慣』という2つの観点から、緑内障診療の新たな可能性を探ります。

羽入田明子先生(慶應義塾大学)には、疫学研究に基づく緑内障と生活習慣の関連性についてご講演いただきます。そして、津田聡先生(東北大学)には、眼血流障害やFlammer症候群と緑内障の関連、さらに血流改善成分を用いた新たな治療アプローチについてお話しいただきます。

本セミナーは患者さんの中途失明を防ぎ、生活の質の向上を目指す最新の知見を学び、緑内障診療の未来を切り拓く新たな視点を共有する貴重な機会です。皆さまの御参加を心よりお待ちしております。

講演
1

羽入田 明子先生

慶應義塾大学

緑内障と
生活習慣の
最近の知見



講演
2

津田 聡先生

東北大学

緑内障と
血流の
最近の知見

